

写真投影法ワークショップ in 可部のまち

概要：今年度の研究委員会企画の研究法ワークショップは、コミュニティ心理学らしく地域に飛び出して、フィールドワーク形式で写真投影法のワークショップを実施いたします。対象の地域は日本初のJRの廃線復活で注目されている広島県安佐北区の「可部のまち」です。

午前中は、築150年の古民家を再生した「可笑屋」を拠点に、JR可部駅から徒歩圏内のエリアにおいて、グループで移動しながら写真投影法による調査を実施します。午後は「可笑屋」での昼食後に、JR可部駅から「あき亀山」駅に電車で移動、コミュニティスペース「縁が和」で午後のワークショップの説明をします。そして、そこから徒歩で最終目的地のかやぶき古民家「源氏庵」に移動しつつ、午後の写真撮影を実施します。「源氏庵」では、各自が撮影した写真について対話しながら、お互いの「可部のまち」の捉え方について共有します。

「可部のまち」については、リビング広島の特集記事 (<http://www.livinghiroshima.com/?cn=109252>) をご参照ください。なお、本ワークショップでの立ち寄り先の「可笑屋 (<https://www.wing-kabe.com/>)」、「縁が和 (<http://jp-site.net/koubou/koubou.html>)」、「源氏庵 (<https://www.facebook.com/genjidake.eco/>)」はそれぞれ「可部のまち」のまちづくり拠点となっている施設です。

開催日時：2017年8月19日（土）10:30～17:30（少雨決行）

集合：JR可部駅（広島市安佐北区可部2丁目27番63号）の改札外側に10時30分に集合

参加費：会員は1,000円（昼食代、飲物代、および「可部—あき亀山」間の交通費の実費）
非会員は2,000円（昼食代・飲物代・交通費の実費、および非会員参加費1,000円の合計）
*参加費は当日徴収いたしますので、お釣りのいらぬようにご用意ください。

参加定員：20名（申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。申込期限は8/5まで）

申込方法：1. 氏名、2. 住所と郵便番号、3. 所属、4. 電話番号（当日連絡がつく携帯電話）、5. メールアドレス、6. 懇親会費への参加の有無、をメール本文にご記入の上、メールの件名に「写真投影法ワークショップ 参加希望」と書いて、研究委員会(jscp.kenkyu@gmail.com)までお申し込みください。なお、行事保険加入のため、氏名と住所の情報が必要となります。

なお、ワークショップ終了後、「源氏庵」にて懇親会（時間17:30～19:30、参加費2,500円）を開催します。お申し込みの際は、懇親会への参加の有無もお知らせください。ワークショップ内容について、ご不明な点がございましたらお気軽にメールでお尋ねください。

ご注意点：歩きやすい靴と服装でご参加下さい。また暑い中、屋外でのワークショップとなりますので、帽子等を着用されることもお勧めします。

*写真投影法とは、調査対象者にカメラを渡し、何らかの指示を与えて写真を撮影してもらう。そして写真に撮られたものを、自己と外界との関わりの反映と見なし、認知された環境（外）と個人の心理的世界（内）を把握、理解しようとする方法です。